六、渡米中の生活

るであろう。 することにした。必要ある所には簡略な註釋を加えてあるから、讀者はよくその文意を諒解し得 ろう。よつて私は、 彼の精神生活を赤裸々に物語つている點に於て、興味津々として盡きないものがある。しかも彼 れは彼の生活を最も詳細に物語つている。單に彼の生活の形態のみでなく、實に彼の生活態度、 の思想傾向、 なる生活を營んだか。この間に於て、彼が故國に書き送つた手紙が數十通保存されてあるが、そ 八五三年(二十三歳)に米國に亡命してから、一八五七年に故國に歸えるまで、エリゼは如何 彼の性格を討究する材料として、これに優るドキュメントは他に見出せないであ その數十通の手翰の中から、代表的なものを四五通選んで、それを翻譯摘錄

×

×

苦勞したか知れないが、 たねばなるまいが、 新らしい友人達のことを詳報してくれた筈の、 それも期待し得るかどうか。 遂に何にも無かつた。君の書翰による全部の報道は、 その手紙を探しに行くために、 また次の便船を待 どんなに

見受けられる。それ故、 物以外のことが考えられる餘地があるからだ。 スでは、吾々の英語は讃められたが、ここでは、 この地方では非常に飢脈に語られるので、教授達に對して最も正確な發音が要求される。イギリ では、僕など到底耐え兼ねる困難に遭遇するに違いない。それは英語だ。それは、この公用語が 教授の職を求め、 君の來米に就てだが、 より多く便利だし、 われわれの家庭を組織する基礎ができるまで、そこにいることだ。ルイジャナ 北地に留まることだ。そこには少なくとも學問的生活があり、 僕は君が一時マサ 君の價値もよりよく認められるだろうから。澤山の手紙を持つて來て チュ セットに留まることを勸める。 僕の英語も平凡な滿足しか與えられないように というの は、

しかし、君が若しどうしてもルイジャナに、來ることを欲するなら、職場を發見することは容易で

最太専門學校の一つがあり、僕はついその地質學、 間耕作し果實を結ばしめることを條件とする。何れにしても、最初から何事もうまく行くという の家に職業の口があつた。君が若しいたら、 は保守的で粗野な人間らしく見える。僕は彼を警戒している。二週間前に、フォル ならばド・ラ・ファイ氏は君の良き友となり君の讃美者となるだろう。此處にはルイジャ それがないとしても僕はその千法を餘りに高價に買うことになるであろう。若し君がことに來る オルチェ家の家庭教師である……石川)氏以外のところで教授するという無躾を演ずることになり、 れは僕に取つて千フラン以上の收入を増すことになるが、併しそれはフォルチェ(エリゼは既にフ あろう。ド・ラ・ファイというお醫者さんがいる。この人は正道で少しぼんやりしているが、 し君が教授の地位を受諾するならば、 人の黑奴を解放して破産しながらも、 と言つている。この人が一週間前に、僕にその娘(白色)の教育を引受けてくれと申出た。そ こうした機會は幾らでも見出し得る。 これは別の話だが、 若し君がテキサス州に行こ 州政府は君に二百エーカーの土地を吳れる。但しそれには君がその土地を五ヶ年 なかなか元気で、奴等のために没落したが、これでよかつ 數千フランでその職に就けるであろう。だがあそこの校長 その職に就いて、四千フランを享楽し得たのであつ 物理、 化學等の練習教師になりそこねた。若 チェ氏の義弟

譯にはなるまい。僕は金が手に入り次第、 君を援助することができる。

慇懃さを以て、 に属するであろう。』それのみならず、僕はここで最好の幸福を興えられ、 要地となるべしと見込んだ土地を買い受け給え。そして當然のこととして、 ストルを提供する。そして君は三千フランの資本を以て、將來のアマゾン河岸の殖民に際して重 僕はこれを受入れたいと思う。 フォルチェ氏は、 私は君に、息子のミシェルの分として百二十五ピヤストル、他の子供達の分として四百ピヤ 一家族に對すると同様な愛情を以て、待遇されている。 先日次のようなことを僕に提議した。 彼は僕に言う『若し君がアマゾン それは誠に親切の表證であり、 河岸に移住しようとするのな 賓客に對すると同様な その土地の半分は君

年末以前に着くように試み給え。なぜなら十二月から一月にかけて、 僕はメキシコ又は他方の連山中に暮したいと思つている。 ケ月間の休暇を利用し

は一人もいない。 の全同情はコサックに向いていると承知し給え、その祈禱に於てツァ 紛失した手紙の (當時クリミヤ戰爭あり。トルコの對露宣戰 (一八五三年)。 心髓を再書することを忘れないでくれ……時代の兆候に就て言うが、 を忘れるような民主黨員 英・佛の對露宣戦(一八五 ア

四年)等に對するアメリカ人の興論・感情を談るのであろう……石川、

弟

拜

ニュー・オルレアンから母に送つた手紙(一八五四年頃)

愛するお母さん

らない 母さんは私がこの病氣にかかつたことを祝つて下さい。なぜなら、この黄熱病には二度とはかか を相變わらず心配していられるようですね。さきに、 の中をくぐるように此の病氣を經過してしかも焼けなかつたのです。 の事を言いましたが、 いで下さい。 今度のお母さんの手紙によると、 豫後は可なり長く續いたが、 ものなのです。もう私はニュ 私はそんなに苦しみはしませんでした。そして絶望感など決して起きなかつたの 今日では一切御心配無用と言い得るに至りました。なぜなら、 十五日この方、 此の國に流行する病氣 1・オルレアンへも、 病氣は完全になおりました。……だから、 私はお母さんに心配させまいと考えて種々 ヴェラ・クル (黄熱病……石川) 過ぎ去つたことなど心配し ーがへも、 の爲に、 ヴェラ・クル 私は既に火 私の身の上

50

できるのです。 ーヅからリオへ でいるが、ここには省略する……石川) も行くことができ、そして些かの恐怖もなしに、この病源中心地に留まることが (彼はこの病氣中、非常な親切さを以てフォルチエ家の人々の看護を受けたことを書き送つ

業であろうが、機械學であろうが、彼の勉强が何れに向うにしても、彼は有用な人物になり得る (エリゼ達の次の弟……石川)が輝やかしくもその修學を終えたということを知つて、 チェが専門學校に行き、その他の生徒が大きくなつて、私がここにいる必要がなくなれば、 になりました。しかし私は農業研究を續けないのではありません。私の生徒のミシェル・フォル から去らねばならぬと考えた時、事を急がねばなりませんでした。そのために私は再び家庭教師 つた時には、もう決定的に農夫になつた積りでした。ところが、私は眼を見開いて、 自分の選擇で兄弟達を引張ろうとするほどエゴイストではありません。私は、アイルランドに行 のだから、私は愉快です。ただ私の立場から言えば、 彼は今、どの方面に向うべきかに就いて迷うているらしいですね。しかし、醫學であろうが、農 の手紙は大へん私を喜ばせました。三年この方、 私の全同情は農業にあります。しかし私は 全然消息に接しなかつたオネジ ヨーロッパ

は折れはしないかと感じました。 はあの職業をもつと續けたでありましよう。しかし私は告白します、幾度か、 らぬという様な虚偽の羞恥心は私にはありませんでした。若し私がもつと頑丈であつたなら、 世の惱みを感じたなどと想像してはいけません。それは全然ちがいます、最後の金が消費された 私の冒険生活の最も愉快な思い出になつています。私が豚樽運搬夫になつたとて、些かでもとの 叔父さんは、 自ら勇んで再び祖父さんのような生活を建立することを幸福とするでしよう。お手紙によると、 私はただ單に、勞働者として日々の入費を獲得したに過ぎないのです。餓えても忍ばねばな 私が荷揚人足になつたと聞いて頗る悔恨したとのことですが、私自身では、あれは あの鹽樽で私の腰

總てはお母さんに

53

(エリゼがニュー • ークの波止場で荷揚人足になつたことは前にも述べてある……石川)

は足らないでしよう。だがそれにしても、 す。お母さんの苦痛は餘りに深刻、 た。そしてお母さんは未來を恐れていられるように見えます。 めます。それに既に存在しないことに係わつて何になりますか。どんな激動も吾々に力を與える さんの氣持に障わるような意見を吐いたり言葉使いをしたり、するかも知れないから、 んなに幸福か知れません。これまでに起つた多くの物事はお母さんの心に辛らい悲みを集めまし ことはできません。それよりは、 今朝お手紙を受取りました。私はそれに對し、 私は將來に就ても母さんに保證したいと思います。 餘りに根深いので、 些かでもお母さんを慰めることができるなら、 ただ生きているということだけを御知らせしま 私の思い出ぐらいでは、それを癒やすに 是れまでのことに係わると、 それは止 私はど お母

54

するために幾萬の敎員・女敎員が競爭熱中する英國に於て、 の人であることを否定することはできないでしょう。あの人口過調な、そして一片のパンを獲得 ただ些かの良き意思を持つていれば充分なのです。それに何人といえども、兄さんが氣力と才能 とは理由のないことです。此處では、誰でも安樂に暮すために特に勇氣や才能を必要としません。 兄さん しかし若し來たからと言つて、 (エリイ……石川)がアメリカに來るという決定的意思を持つかどうか、 お母さんが彼及び彼の家族の饑餓を心配なさるなどというこ 吾々は多くの友人もなくて、兎も角 まだ

現されないことが分つた時、その時は、お母さんは、唯だ苦しめられた過去を忘れるばかりのこ は美しい愉しいもので、兄さんの家族はきつと幸福に暮されます。その時、 私と同様の考えを持つていると思います。更に私としては、兄さんがフランスに於て所謂官 せます。幸にして、 不幸のために苦しめて置くことを恥辱に感ぜしめる時は、私は數年の間にきつと金持になつて見 としては、若し私の意見が、富を真の罪悪なりと考えしめぬならば、そして私の知つている人達を いでいるアメリカに於て、 も自分達の思うように生活し得たことを思い起す時、 人を踏みつけずには身を還えすこともできないほど人の多い國で何ろすればよいですか?…… 相違ありません。彼が或る地位を得るのは、 私の言うことを信じて下さいっわれわれが、これから建てようとする小さな殖民地 00. ないことが、 が付い でいます。兄さんは、あの稱號や勳章を帶びた總での大人達に惡臭を感 生計を立て得ないであろとなどと、どうして考えられましようか。私 どんなに嬉しいか知れません。公職には多かれ少なかれ、 それを喪うために他ならないのです。そして との土地が農夫を呼び、 お母さんの不安が實 事業が勞働者を招

四本、君がどんな穴をくぐりぬけたかを僕が知り得るまで。なぜならアメリカの郵便局は手紙を 然分らなければ、僕自身何も爲し得ない。だから、手紙を吳れ、ただ一本でなく、二本、三本、 になった人……石川)とのことが不安定である間は、僕自身のことも不安定だ。君のすることが全 は、君がパリで友人のヒッケルの處に托した、 喪くするのが商賣なんだ。 か、ニュー・ヨークか、僕には全然分らない。君とノエミ(ルクリュの從妹で、やがてエリイの妻君 この想像は私を滿足させない。何處にいるのか? パリか、ベルリンか、ロンドンか、デュネーヴ 兄貴よ、君は一體どうなつたのだ?人しい此の方、全然消息に接しない。最後に受取つた手紙 お母さんの手紙の一句から察すると、君は英國に歸えつたらしくも思われるが、しかし 一八五五年、ニュー ・オルレアン附近、フォルチエ氏移住所よりエリイに宛てた手紙。 あの寫真と神秘主義とに就て書かれたやつだ。そ

えば充分だ。彼はこの地で六年間一人の友もできずに過ごした。あの情熱を持つた、 民の特徴を君に説明するには、あの僕を死の戸口で救つてくれた正直者のラ・ファイのことを言 親達がこの子供達の愛情を適正でないと考えていることを僕は容易に察知している。殊に生徒中 には何かしらそれ以上のものがある。それでいて、僕が此處を出て行けば不滿を釀すに相違な とは、教室では動く辭書となり、食卓では善人であれ、ということに盡きている。不幸にして僕 の一番大きい、今年十四歳になる眼の大きい娘の子の愛情に就てそうなのだ。僕に要求されると は何時までも親達にとつては尊敬すべきまた些か愛される外來人であるが、しかし到底友達には いっなぜなら、 と考える、即ち彼等は如何にも叮嚀に僕を偏執者と呼ぶのだ。子供達は非常に僕を好いている。 なれない。最大級のもてなしはするが、誠實ということは全然缺けている。彼等は僕を些か狂氣だ て行く快學がなかつたならという假定の下に於てのみそれを承諾した。若し君が來れば、僕はい 彼の家庭に留つてくれと僕に要求した。僕の方では、メキシコかニュー・グラナダかへ飛び立つ つでも出て行くことができるということにフォルチェ氏との間に相談ができている。それに、僕 僕の生活方式は何時も殆ど同じことだ。フォルチェ爺は、これまでと同じ條件で、もう一年間 代りを見つけることが可なり難かしいから。そこだ……そこだ。それに、白色移 誠實な、

ないのだろう。 なんだが、正直なラ・ファイは白色移民のどの部落にも屬さないので友達を見付けることができ 直な、學識ある、變り者がさ。本來なら、少しでも獨創的なものは敵も造るが友達もできるもの

僕がどの方向をとつたらよいかを決定し得せしめる爲に、手紙を書いて下さい。 で、ノエミは?

るが、貧乏學の最初の句を知らない。就職口を待ちながら、彼は眠り、 そしてニュー・オルレアンでは無收入生活を何とも思わない。僕がどうして金を持たないかとい マンネリング(エリゼの同僚……石川)は少々困まりものだら、彼は懸命に良い職業を求めてはい これで君にも解るだろう。 煙草を嚙み、

また會う日まで、幾月? 幾年の後に?

君の善きエリゼ

なないで、遂に自らその感情を斷絕した。……石川) (エリゼは眼の大きい十四歳の娘に愛され、また自分でも愛したが、奴隷保持者の一族と結婚する氣にはれ

・オルレアン近郊からエリイ夫妻に送つた手紙

男よ並びに君・女よ(男とはエリイ、女とはその妻……石川)

つてボケットに入れるよりは、遙かに増しだと思う。間接ではあつても、 り飛ばしたりすることを必要とする。それは、 餓に苦しんだり、 それが僕の好むところなんだ。……第一に僕は、飲んだり食つたり寢臺で臥たり、滿されたボケ てくれる教師を探す積りだの(兄夫妻は、當時直ちにフォルチェの家に來ることも欲しなかつたのであろう タ・フェか、今ちよつと明白でない……石川)に向う。こと數日内に、僕はニュー・オルレアンの周邊 のホテルというホテルを駈けめぐつて、僕に代つて、この首架を着け、給金を食うことを承諾し 決まつた。そして雷が僕をぶつ潰さない限り、三月には此處を立つて、サンタ・フューどこのサン ットを叩いたり、 ……石川) 僕には出發すべき理由があるのだ。 その理由は氣ちがいぢみているに違いない。だが 宜しい、君達の思うままさ、或は他の方向を望むなら、それでも宜しい。僕の方では、 正しい時計で時間を注意するのを見たり、することに疲れ果てた。僕は些か饑 砂礫の上に眠つたり、猿の肉一片のために時計(變わらぬ友情の記念)をも賣 たしかに、黒人達が血と汗とで獲得した金銭を奪 結局鞭を執つている すつかり

(黒奴に對して……石川)のは僕だ。そんなことを受け容れる譯には行かない。

この他に一つの理由がある……

る。それが僕として一刻も早くここを脱出せしめる所以なのだ。 即ち、徳義や道徳のこともあるが、殊に僕は奴隷制度と教會と移民者道義というものを嫌悪す

·ルテールに發明されたのだ、僕はそれを知ろうとはしない。僕はただ前進する。最後のボタンま 美しい谿谷の、アマゾン上流のごうごうたる流れの畔に足を止める。ニュー・グラナダに十ヘク 産すべく貧困に挑戦するであろう。僕は、牧夫でも、剪毛夫でも、左官でも、産科學の教師でも で賣りつくした時に止まるまでさ、銅錢も青錢も無くなつた丁度その時に僕のいる土地こそ、天 タールの土地を要求して、そとに可愛い小屋を建てる。來たまい、それや樂しかろうよ。それか 構だ。しかしね、わが愛する姉、君が一度び『行きます!』とさえ言えば、僕はアンデス山の麓の 何でもやる。或は黑人に似せる爲に顏を黑く塗ることもあろう。僕が前進する爲めなら何でも結 が僕のために選んだ所と見做すであろう。そして僕はそこでまた、一片のパンや麥や上衣やを生 ら三年又は四年の後、その樂園に退屈したら、その時はまた舊世界に歸省するさ。 わが愛する賢いノエミは、『そちらで何をするか?』と相變わらず訊くだろう? 神様さへヴォ

・く、られしがる人達へ。あそとでは、針三本でバナナが五十斤買える。それから、七本の針で五 の王……石川) 十斤のマニホット(澱粉原料)が買える。こうして僕は、毎日一本の針でサルダナパル(アッシリヤ て、それに糸だの針だの安全ピンだのを一ぱい詰めて、山から山へ、町から町へと、賣つて歩る 買うことにした。それには素晴らしい名前を付ける積りで既に探求中だ。その騾馬に箱を荷わせ 書き散らかしてはあるが、併しまだ充分ではない。僕はなおアンデス山を見たいと思つている。 それはあの純白の雪に少しく僕のインクを投じてやりたいからだ。そのために、僕は騾馬を一頭 この方地理學の種を懷姙していて、それを書籍の形で分娩したいと思つている。僕は旣に可なり まく行けば實現できるようにの御承知だろうが、いや寧ろ御承知ではないだろうが、僕は久しい いずれにしても、君達はそう急速には來られまいが、兎に角、計劃らしいものを立てよう、 のような豪奢な生活ができる。どうです、ノエミ、この總てのプランはとても立

61

う。牛月ばかりの内に少しばかり、お金を送る。それには町まで出て行かなくてはならない。 近い内にミスシッピイに闘する一文を送るの奴隷制度に闘する文章の方は、ずつと後れるだろ

ね。君の手紙は此處まで一ヶ月かかることが多い。手紙のアドレスは Roman and Kenion に。 屢々便りを哭れ給え。 君の手紙は僕を元氣ずける。 三月末に僕が出發することを忘れないで

自愛を祈る

エリゼ

リゼが旣にその一生涯の事業たる地理學的論文の起稿に着手したことである……石川) 看取される。彼はフォルチエの娘に愛され、自分も憎くからず感じたのであるが、奴隷保持者の仲間入りを するに忍びず、斷然感情をふり切つて遠いグラナダを眼ざして出發した。更にこの手紙で知られるのは、 (この手紙によつて、エリゼがフォルチェの家を出て、いよいよ理想鄕建設に着手しようと企圖する氣配が

62

一八五六年八月三十日リオハシャから彼の母に送れる。

最も敬愛するお母さん。

痛でもあり、また恐ろしくもあります。私のハートの奥に感する響き以外に、 ているが、全然分りません。何時になつたら便りに接し得るか解らないこの長い間の不安は、 六ケ月以上もヨーロッパからの便りに接しません。 私をして生きがいあらしめる人々がどうし お母さん達の生活

てロイス(一番大きい妹……石川)とエリイとのアドレスを教えて下さい。 本來ならば非常に愉快 安定し、元氣を以て勞働を愛し樂しむことが出來るでしよう。 であるべきこの地に於て、 の反響にも接し得ないことは、私にとつては死の思いです。良いお母さん、手紙を下さい。そし 私は可なり淋しく悲しいです。お母さんが手紙を下されば、私の心は

ではありません。生徒が餘り學ばない時は殊にそうです。そして、それが物を賣ることであつて 見れば、分詞(文法……石川)などを賣るよりはバナナや アラカシア を賣る方 が私には 好ましい 私はリオハシャで立派に面目を保ちつつ生活の糧を得られますが、しかし教師は私に適した仕事 總では實際に排作することなのです。 心からその仕事に投する者は、 です。私の良心は聲高にまた明白に私に言うでしよう。私は同胞の爲に有用なのだと。それに、 私は明後日、シェラ・ネヴァダに向つて出發せねばなりません。山の百姓になりに行くのです。 成功するにきまっていま

帶地から兩極地に至る、あらゆる地帶の植物を豊富に生産します。なぜなら諸山の中腹を廻らし リオハシャの附近には二三の貧しい農園があるだけです。生活必需品はサンタ・マルタや、 合衆國から來るのです。ところがシエラ・ネヴァダは比較にならぬ豊饒の地で、

國の將來は、スキスのそれと同樣に美しかろう。私はその開拓者の一人となりたいのです。 ベルのみで行われている地方に、これはどんなに幸福なことか! それは兎に角、この美しい山 間に五萬人の殖民を移そうとしています。まだ一臺の緋耘車もなく、農作のあらゆる仕事がサー ることができましようか? フランスの一會社はシエラ・ネヴァダの租借を要求し、ことに五年 て、あらゆる氣候が重なつてあり、それに從つて種々な草木が繁殖するのです。しかもこの美し い大地を、スペインの徴税吏や牧師の苛儉誅求で馬鹿になつた敷百のアルアク人だけで、どうす

ャセイニ氏を待つて居たのです。シャセイニ氏は立派な指物師で、 人で、三ケ月以來知り合になり、今二人一しよに生活して、完全に仲よくしています。.... シェラに向つて出發する前に、 かくも長くリオ・ハシャで待期していたのは、組合の同僚のシ 少し口やかましいが、 怜悧な

しいか知れない。近くには瀑布があり、遠くには海を見おろし、白帆の船の往きかう眺め、六千 お母さんのことを思う惱みがないならば、あの處女林中に居住しようとすることは、どんなに樂 てて、浦の屋根をふくことを手傳います。よくも惡くも吾々はそこで雨露をしのぐのです。若し こうして私は、 お母さん、ここ數日内に、 サイネリヤ又は木綿樹の蔭に蓆を敷き、

下ります。私のアドレスは唯だニュー・グラナダ、リオハシャでよろしいのです。ここには手紙 との出來るように。お母さんの手紙が着いたかどうかを見る爲に私は十五日每にリオ・ハシャへ の配達をしないので、各自がそれを取りに行くのです。(以下略) い限り、私は淋しい孤獨を感じます! 手紙を下さい、山をも林をもお母さんで一ぱいにするこ メートルの高處からわれわれを俯瞰するバラ色の雪の景色など! だがお母さんの便りに接しな

お母さんの エリゼ

なことは、兄のエリイと離れて生活することの苦痛であつた。 そこで彼は 理想郷建設のことは 後日の機會 作人になつて了い、 どうにも發展の光明が實現しなかつたらしく見える。 且つそれよりも彼にとつて重大 就く旨を報じている。彼の幾通かの手紙によると、他の經濟的助力を受ければ獨立を失い、百姓をすれば小 兄のエリイに送つた手紙では、以前とは異つて、『すぐ來い』というようなことは言わない。理想鄕の建設 (即ち今のコロンビヤ)の北方海岸にある一小部落でサンタ・マルタ港の東北方に位する。 この後になつて を待つことにして、率然歸國の途に就いたのである。それに此の時、故國に大赦令の發せられたことを開 も、解消の非運に到達したことを報じ、七月一日に發送の手紙では、當日故國のアーヴル港に向つて歸途に も無一物の若者たる彼には容易な事業ではない。 一八五七年六月一日 の手紙にはシャセイニとの 協同組合 (この手紙はエリゼがリオ・ハシャに着いてから五六回目のものであろう。リオ・ハシャはニュー・グラナダ